

特248

666

宇治市少年職業指導員編

職業指導の概要

宇治山田市職業紹介所



\* 0036565000 \*

0036565-000

特248-666

職業指導の概要

宇治山田市少年職業指導員・編

宇治山田市職業紹介所

昭和11

AGF



特248  
666

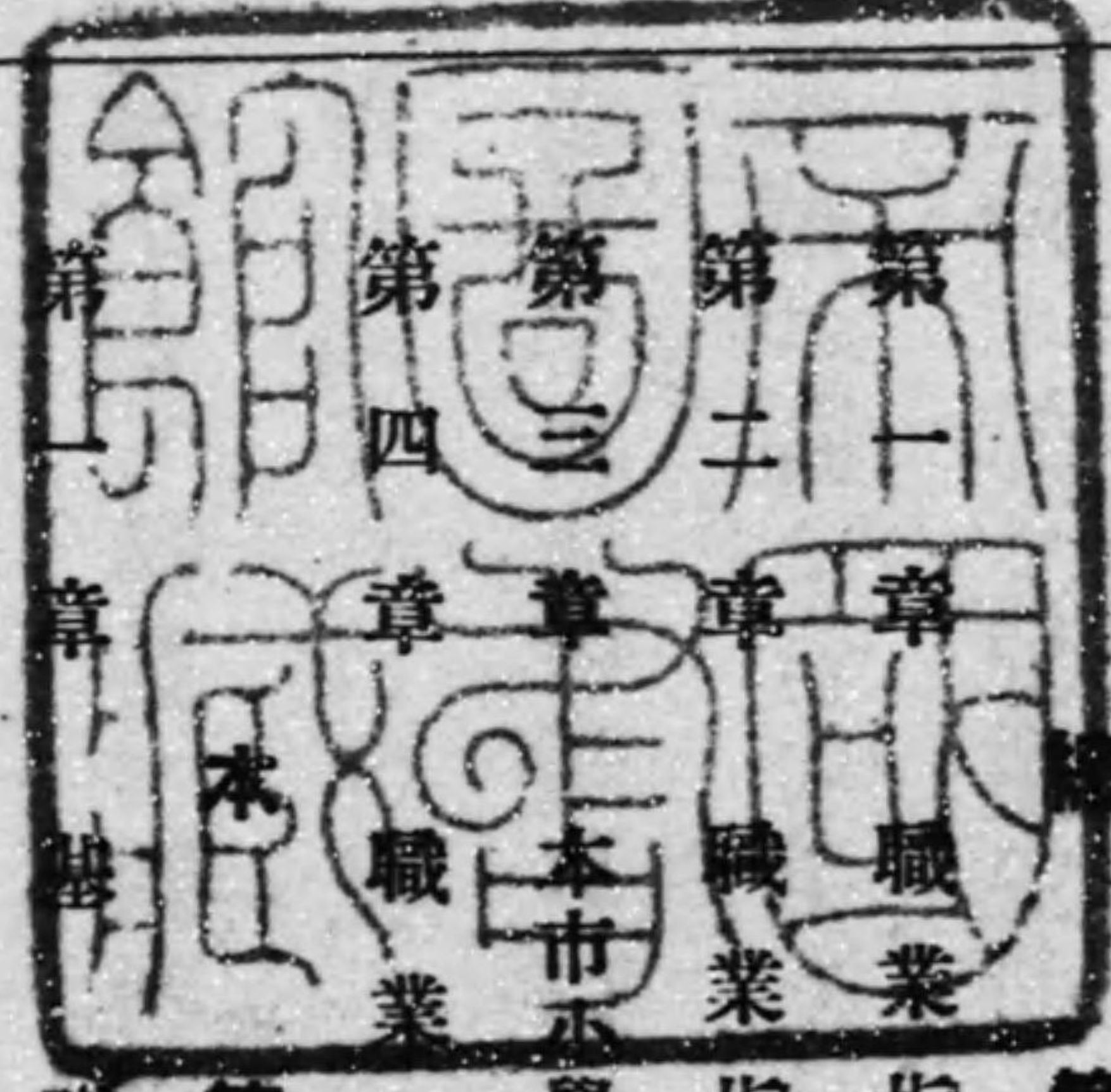
本書は大正十五年本市に少年職業指導を實施以來十有  
余年間に亘る各小學校少年職業指導員各位の永い苦心と  
深い經驗に基く貴重な材料を集録編纂したものである。  
茲に本書を刊行するに當り指導員各位の研鑽努力に對  
し深甚の敬意を表する次第である。

昭和十一年二月

宇治山田市職業紹介所長 橋 本 増 藏

目 次

文部省訓令第二十號の要旨



第一章 職業指導の要旨……………	一
第二章 職業指導の方針……………	一
第三章 本市小學校の職業指導態度……………	一
第四章 職業指導大系……………	一
第一篇 基礎調査……………	八
一、兒童調査……………	八
1、個性調査……………	九
2、環境調査……………	二〇
二、職業調査……………	二





第二章	職業的陶冶……………	三
	一、職業的智識陶冶……………	三
	二、職業的體驗……………	一九
第三章	就職進學指導……………	一〇
	一、選職指導……………	二
	二、進學指導……………	三
	三、就職斡旋……………	二四
第四章	就職後の輔導……………	二五
	一、一般輔導……………	二六
	二、特別輔導……………	二七
附 錄		
職業指導研究會……………		三〇

文部省訓令第二十號

兒童生徒ノ個性尊重及職業指導ニ關スル件

學校ニ於テ兒童生徒ノ心身ノ傾向ニ稽ヘテ適切ナル教育ヲ行ヒ更ニ學校卒業後ノ進路ニ關シ青少年ヲシテ其ノ性能ノ適スル所ニ向ハシムルハ時勢ノ進步ト社會ノ推移トニ照シ洵ニ喫緊ノ要務ニ屬ス隨ツテ學校ニアリテハ平素ヨリ兒童生徒ノ個性ノ調査ヲ行ヒ其ノ環境ヲモ顧慮シテ實際ニ適切ナル教育ヲ施シ各人ノ長所ヲ發揮セシメ職業ノ選擇等ニ關シ懇切周到ニ指導スルコトヲ要ス是ノ如クシテ國民精神ヲ啓培スルト共ニ職業ニ關スル理解ヲ得シメ勤勞ヲ重ニスル習性ヲ養ヒ始メテ教育ノ本旨ヲ達成スルニ至ルモノナルヲ以テ自今各學校ニ於テハ左ニ掲クル事項ニ就キ特ニ深ク意ヲ用フヘシ

- 一、兒童生徒ノ性行知能趣味特長學習實況家庭其ノ他ノ環境等ヲ精密ニ調査シ



二

教養指導上ノ重要ナル資料トナスコト

一、個性ニ基キテ其ノ長所ヲ進メ卒業後ニ於ケル職業ノ選擇等ニ關シテハ適切ナル指導ヲナスコト

一、學校ハ前掲ノ教養指導等ニ關シ父兄保護者トノ連絡提携ヲ密接ニスルコト  
地方長官ハ克ク以上ノ趣旨ヲ體シ其ノ目的ノ達成ニ力メンコトヲ望ム

昭和二年十一月二十五日

文部大臣 水野 錬太郎

## 總 篇

### 第一章 職業指導の要旨

職業指導は兒童をして職業に對する正當な理解を得しめ且つ職業に對する趣味を養成すると共に個性環境等を調査して職業の準備及選擇就職並に進學を適切ならしめ更に就職後の向上發展を圖るを以て要旨とす。

### 第二章 職業指導方針

一、職業に對する正しき理解を得しむること。

職業に對する正しい觀念特に職業の社會的意義を自覺せしめ各種職業に關する知識を啓培すると共に體驗による勤勞愛好の精神、職業道德の養成、職業的技能の修得、更に進んで日本精神の眞髓を把握し、神明と共に働かしむることが即ち職業に對する正しき理解を得しむることである。

二、職業に對する趣味を養成すること。

凡そ如何なる職業に従事する者も其の職業に對し興味のない時は決して永續大成するものでない。好きこそ物の上手なれとはこの趣味の必要を語るものである。



### 三、個性、環境を調査し適材適職及び進學の指導に努むること。

個性環境の調査によつて児童の特性並に家庭の状況を知悉し、以て選職就職の指導を合理的ならしめ児童をして其最も適する方面最も其力量を發揮し得る方面に向はしむる様導かなければならぬ。尙上級學校進學希望者に對しては學校系統、學校内容、學校選擇等に關し適宜指導を行ふ。

### 四、職業に對する責任感を啓培すること。

責任の觀念は自己の責任を自覺して之に任じようとする精神が實行に表れなくてはならぬ。故に此の觀念は職業を通じて最も良く顯現せられるものといはねばならぬ。職業人として自己の携はる職業に對してその務を十分に果すことの出来ないもの、又はその結果に對して責任を負ふことの出来ないものは、已に職業人としての資格を缺き且つ責任感のないものは社會生活の立場からしても已に失格者である。故に社會の共同生活は職業人の責任感より成立つものである。

### 五、就職後の輔

就職後と雖も児童が將來成功し得る見込の立つまでは雇傭者、保護者等と協力し或は一般的或は特殊的の輔導に依つて教育し訓練しよき職業人としての育成陶冶を忘れてはならぬ。

## 第三章 本市小學校職業指導態度

本市は小學校の數七校にして何れも高等科を併置してゐる。

尋常科卒業兒童の五割九分は更に高等科に進み、三割七分は中等學校に進學する者で、殘餘の僅少が直に職業に従事するものである。

故に尋常科に於ては進學指導を主とし、高等科に於て職業指導に努力してゐる。

然して其卒業兒童の大部分は卒業後直に實社會に出で、就職を希望するものである。

其中過半は大阪、名古屋等の大都會に出で、働くものである。

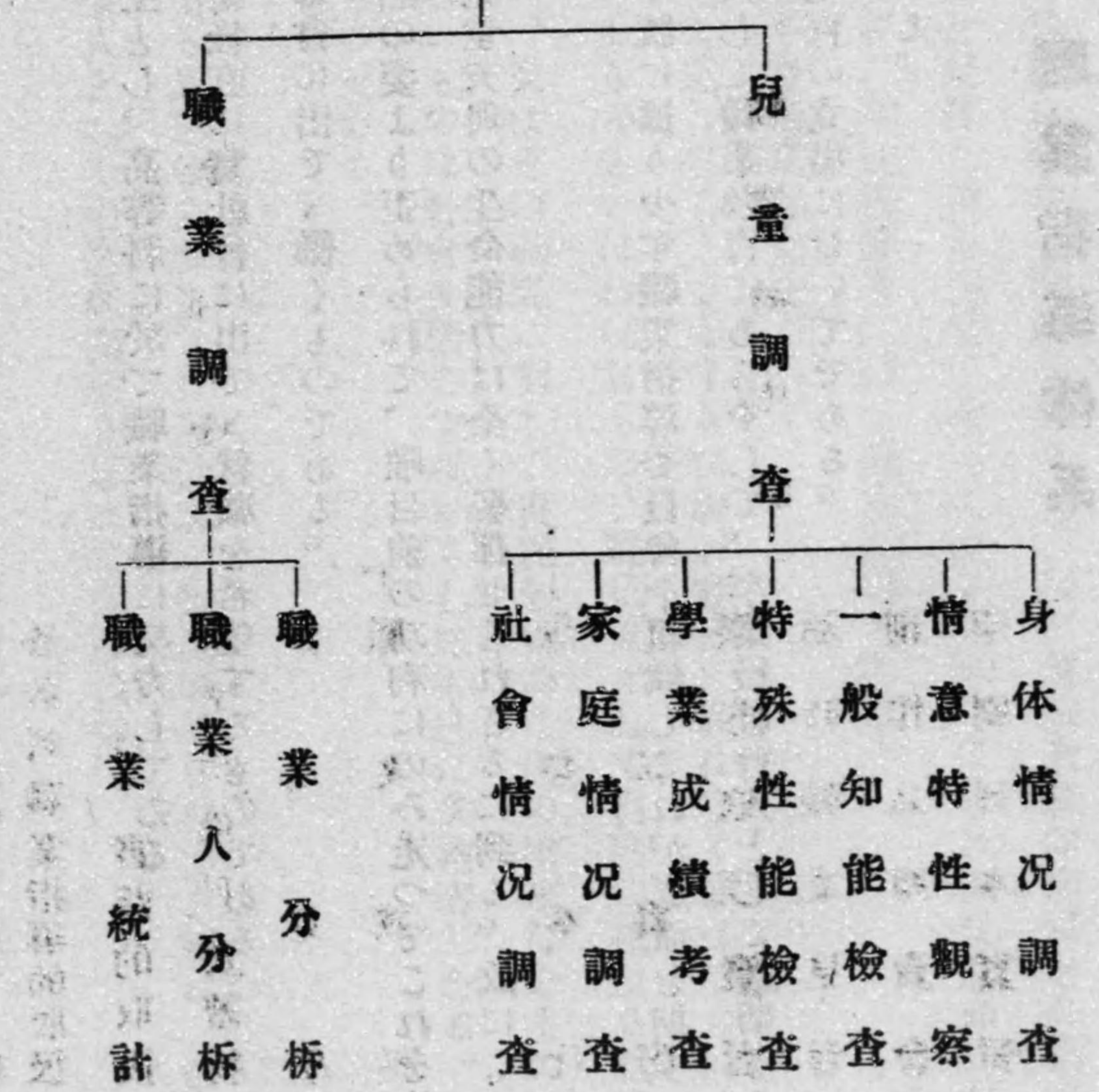
然るに現代社會の職業意識は本然の姿より歪められて、唯目前の功利にのみ走つてこれを追ふ者多く、かくては折角の教育の本旨に反して兒童天與の生命能力は全く發揮せられざるに到る。故にこゝに職業指導の必要を痛感する所以である。

本市各小學校は文部省訓令第二十號に據り少年職業指導委員會を組織しこれが底徹を期すべく努力してゐる。然して本市に於ける職業指導は決して職業教育にあらずして、卒業後社會人として適切ならしめんとする教育の努力点にして實に兒童愛の教育の立場においてである。本篇に於て其内容の概要を記述する。

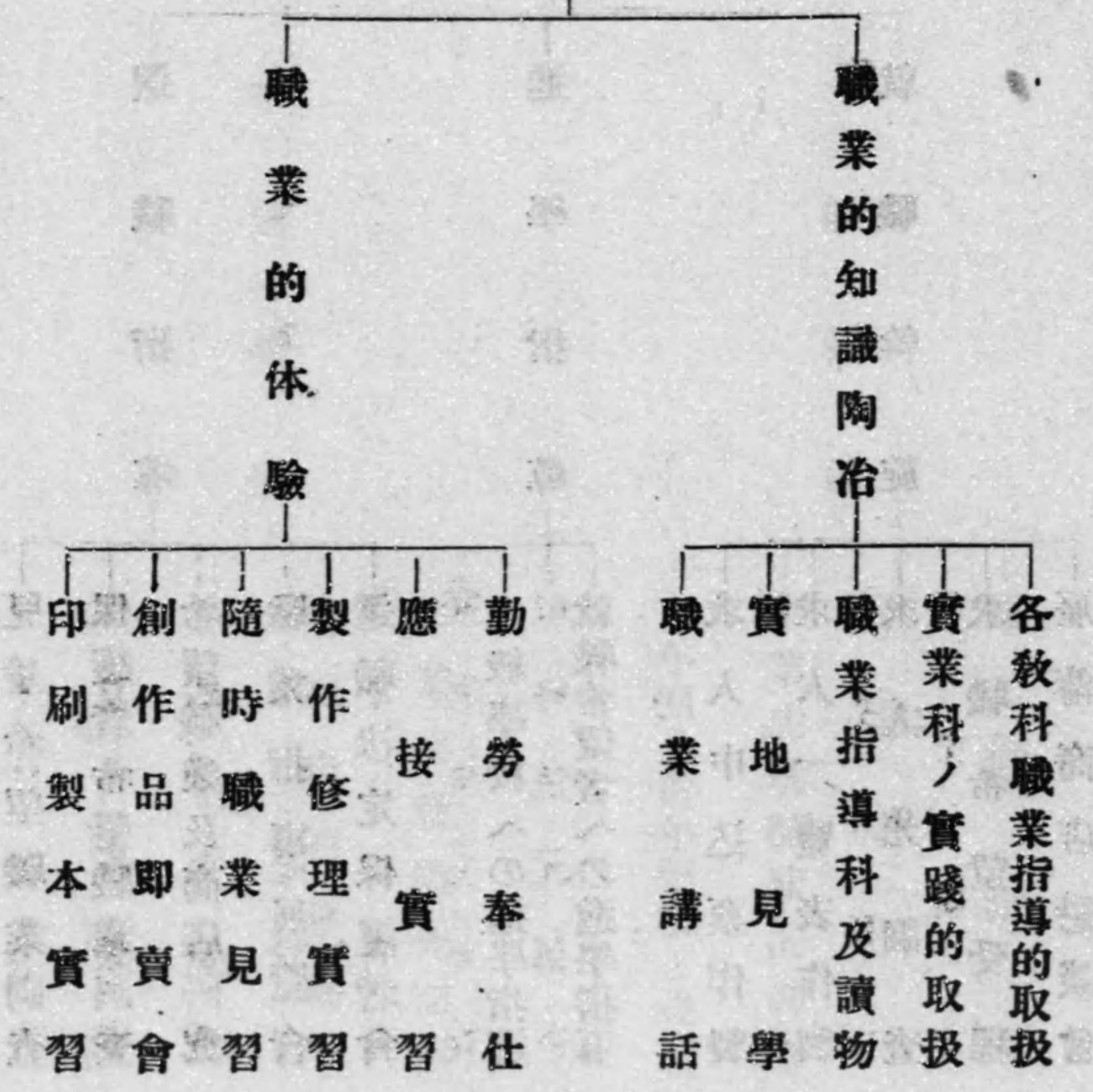
## 第四章 職業指導体系



一、基礎的調查

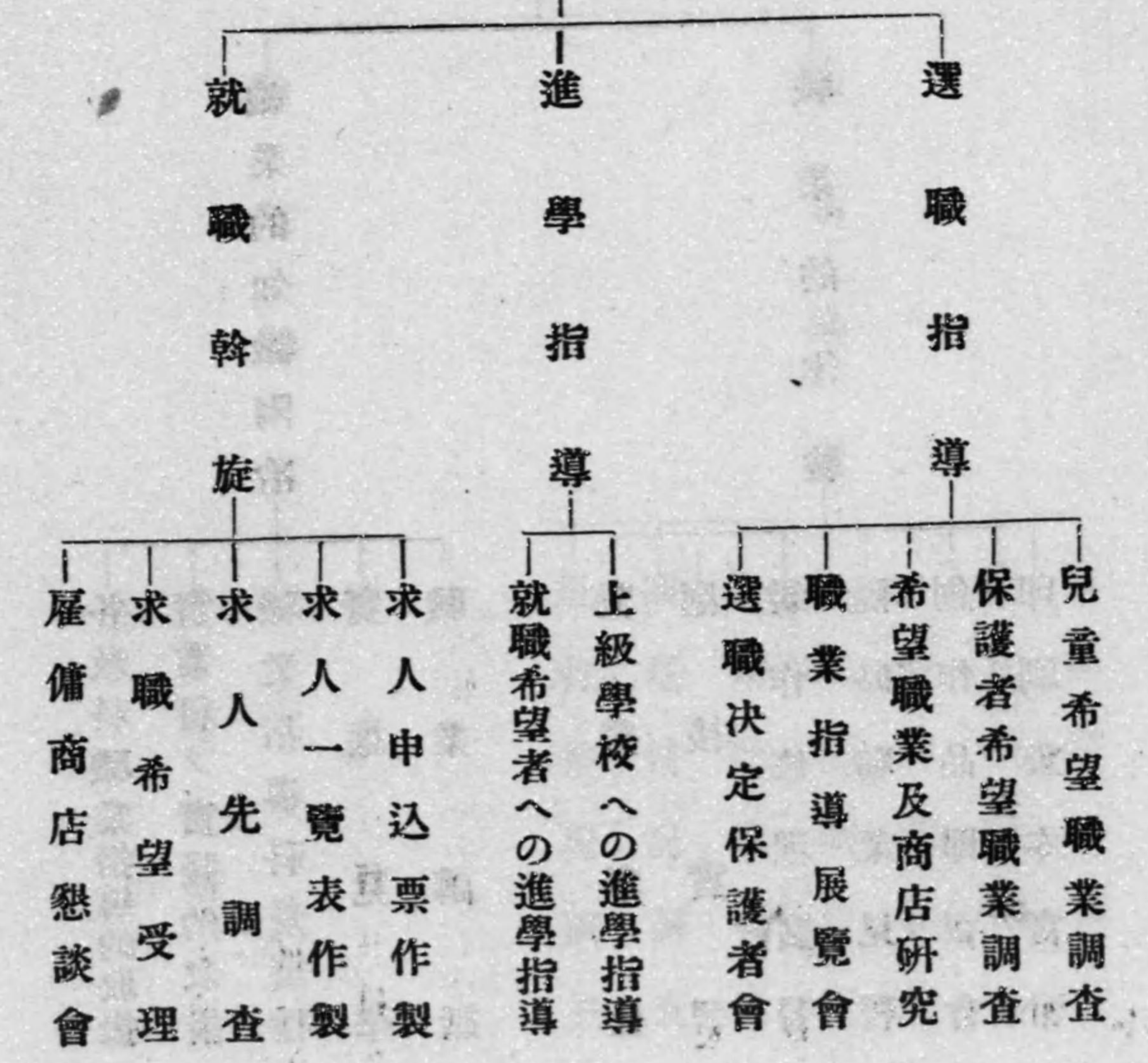


二、職業的陶冶





三、就職進學指導



四、就職後輔導





## 第一章 基礎的調査

小學校教育の根本は兒童の個性環境を調査し之に適應したる教育を施すにある。職業指導に於ては殊に個性環境の重んずべきは論ずる餘地のない所である。

されば職業指導は兒童の個性、環境を調査し之を善導し以つて各人の特性を實社會に遺憾なく發揮せしめ、國家社會に貢献有用ならしむるにある。それが爲には現實の社會組織である職業諸調査の準備をなすことは重要である。

### 一、兒童調査

#### (一) 個性調査

兒童本來の素質を發見して長所は益々之を伸ばし短所は之を善導し以つて最も有價値たるものにならねばならぬ。

職業指導への個性調査は學級擔任者不斷の觀察を主体とし、科學的諸検査は其正確にして信頼し得べきもの

に依り觀察の結果を輔正する目的で行ふべきである。然して綜合的に考察し誤謬なきことが肝要である。

#### 1、身体情况調査

健康であることは職業指導上最も大切なる事であるから出來得る限り正確に親切に調査し健康増進をはかるべきである。

故に學級擔任は特に學校醫と協力して身体上の特徴及異狀を明確に知ること努力したい。

#### 2、情意的特性觀察

情意を詳細に知ることとは兒童をしてよりよい人間にする爲の唯一の手段である。

これを知るは親しく兒童に接し觀察をなす必要がある。其個性簿に記入するにはなるべく具体的に書きわかり易いのがよいのである。

#### 3、一般知能検査

本検査の必要なるは既に周知の事實である。この結果を參考として兒童各自の自覺を起させ尙向上の資料としたい。

本市小學校は愛知兒童研究所發行の知能検査用紙を採用してゐる。

#### 4、特殊性能検査

適材適所を得しめるには本検査の與かる所大である。



本市は山越製作所の性能検査器を購入しこれを實施して數年相當の成績をあげてゐる。

### 5、學業成績考查

兒童の優劣を知るは本考查によるが最も簡單明瞭であつて職業指導上最も重要である。

然して各小學校同一問題にて比較考查を行ひ其位置を知ることとは又必要である。

## (二) 環境調査

個性と環境とは密接なる關係を有するものにて人間本來の性、善惡の二者を包含するものとせばよき環境にあるものの善なる素質は益々善となり、又たとひ惡くとも自ら善導化され、之に反し惡き環境にあるものの素質の惡きものは益々惡くなり又素質よくとも自ら惡化するを免かれざるものである。

故に兒童の環境たる土地の風俗、習慣、氣象、地勢、或は家庭の職業、經濟狀況、家族、社會的地位を調査して兒童の個性が果して兒童固有の素質か、或は環境の影響によりて變化したるものなるかを知悉して之に對して善處の方法を講すべきである。

### 1、家庭情況調査

家族の關係及員數(祖父母、父母、兄弟姉妹、雇傭者等) 職業(母の職業あらば特に記す) 生活程度、教養程度、趣味、信仰及西園の狀況等に付調査す。

### 2、社會情況調査

住居の周圍或は社會關係より兒童の感化に大影響あるは今更こゝに記すことを要せざるに付畧する。

## 二、職業調査

職業指導をなす教育者は先づ自ら職業に興味を持ち職業の如何なるものなるかを認識する事が大切である。兒童調査によつて兒童の職業的個性を發見することを得るとも、果して如何なる職業に適するかを明確に判斷することの出來得るは、具体的なる職業調査によつて職業の特性を理解する者にして眞に可能といひ得るのである。

然しながら現今の數多の職業種類を悉く調査することは不可能であるから、只代表的の職業及郷土の職業に付豫め調査しておくべきである。

この調査には兒童をも參加せしめて行へば最効果大である。

### 1、職業分析

各種職業に付其作業目的、作業内容、従業者の身体的勞働力及精神的特性、或は特別なる人間能力の要求乃至は國家社會への貢獻性等を調査することである。

これは既に専門家によつて研究せられたるを以て、之を郷土化して職業指導上の參考資料を作製する事が大



切である。

## 2、職業人分析

職業に成功したるものに付、特に發達したる能力或は趣味嗜好等を調査する事によつて職業的適性を發見せんとする方法を言ふのである。

## 3、職業統計

文化の發達につれ職業の種類は益々其數を増すものである。

この職業に付夫々の見地より色々分類されてゐるが國勢調査職業分類は妥當的のものと思はれる。故にこれを基本的分類として一覽表とし兒童に示し常に理解に努めなければならぬ。

これにより郷土の職業を調査統計し兒童に知らしめ以て郷土の職業分布状態を理解せしむることによつて、郷土産業發展に貢献せんとする用意を持たしむることにしたい。

## 第二章 職業的陶冶

國民教育としての一般陶冶と關聯して職業人としての素地を育成するために一般の職業分野を對象として行ふ職業的一般陶冶であつて、要は自己に適當な職業を選定する能力を得させることである。

これが爲には先づ強健なる身體を養ひ其基礎の上に職業的知識の陶冶、職業的精神の陶冶、職業的技能の陶冶をなし、職業的態度を育成することにより、兒童は職業人としての資格を体得し卒業後適職に就き所謂職業を通じて社會國家に貢獻し得るよき職業的人格者たり得るのである。

### 一、職業的知識の陶冶

職業に關する一般知識の啓培は教室に於ける各教科の職業的取扱及び實際に職業見學實業家の實踐指導講話等により、或は兒童に可能なる範圍に於て職業調査及活動に參與せしめて体得せしむることが必要である。

#### 1、各教科の職業指導的取扱方針

- (イ) 各教科の要旨を發揮せしめつゝ、必要なる事項の附加敷衍をなし且つ關係ある諸施設と聯絡をはかり、以つて職業觀念の養成並びに各種職業智識の啓發に努め、適職發見の指導をなすこと。
- (ロ) 職業要訓練、職業衛生、能率増進、勤勞愛好の精神、努力の習慣、自主獨立、創造的精神、自己發見、職業的情操陶冶等に關係ある各教科教材は特に重視し、其の實踐的訓練を怠らざること。
- (ハ) 郷土教育と相俟つて良き職業人の傳記、成績、影響等については敷衍詳述し感銘を深からしめること。
- (ニ) 職業指導細目との連絡を緊密に保ち各科は同細目により、同細目は各科により相互裨補し其の徹底を圖ること。
- (ホ) 社會、産業、經濟の各組織及機能に關係ある教科教材は特に之を詳述し、以つて選職就職の用意に於て



遺漏なからしめ、且つ神都の職業人たるべき熱心なる希望を持たしめること。

### 修身科

修身は教授要目に、「兒童の徳性を涵養し、道德の實踐を指導するを以つて要旨とす。」とある。要するに兒童の現在及將來の生活即ち經濟的生活、職業的生活を道德化すべき萌芽を啓培する重要な使命を持つ學科である。

### 讀方科

要旨に示されたる如く、讀書能力を養成しつゝ文化に接觸せしめる重要な目的であるが故に、本科を通じて職業の理解、趣味感情の淨化、民族精神の高揚等人間教育の大切な部面を持つ學科である。

### 綴方科

思想感情を文字文章によつて如實に表現する能力を陶冶し、鑑賞力の養成に努めると同時に生活の認識統制、情緒實踐統制を計らんとする目的自覺を持たす。即ち文製作には社會的必要を意識してなさしむことが目的である。

### 書方科

書方科に於ては正書、速書、美書的能力並びに鑑賞力を養ひ且つ實生活に役立つ様に指導すること。

### 算術科

要旨に示された如く、日常計算の習熟、生活上必須なる知識の授與、正確なる思考の修練をなすが、特に職業實務上緊要なる事項及計算の取扱を重視し經濟的觀念及び計畫的態度の養成に努めること。

珠算科に於ては諸種の實用計算方法を理得し正確にして敏速なる計算機能に習熟せしむると共に實生活に於て充分之れが活用し得るやう研究練磨すること。

### 國史科

國史教授の目的は我が國體を理解せしめると同時に自覺ある國民生活を營ましめ、國民たるの思想を養成するにある。故に單に政治史のみに重点を置くことなく、經濟史、産業史、職業史等國民生活の凡ての方面及此等の相互關係に留意し、兒童將來の職業的活動と國運の進歩發展とは不離の關係にあること及び個性に従ふことが自己發展の最大要件であることを理解せしめるは本科と修身科とに負ふところが多いから此点に留意せねばならぬ。

### 地理科

此の科は地人の相關、國勢大要の理解、愛國心の養成を要旨とするが、職業指導上より一層産業經濟に重きを置き、自然、人文、産業、國勢の相互關係及我が國と諸外國との産業並に經濟關係等について理解せしめ以つて職業精神の養成、職業知識の啓發に努めねばならぬ。

### 理科



本科の要旨は通常の天然物、自然現象に關する知識の一斑と其の相互及人生に對する關係の大要を知らしめると共に、精密なる觀察眼、自然愛好の心情養成にある。而して其教材内容は殆ど日常生活と關聯し且つ本科の使命たる科學的訓練は職業を問はず必要であるから職業指導上、健康保全、利用厚生、研究的態度の養成に努めねばならぬ。

### 圖 畫 科

本科は通常形態の正確なる看取と之を表現する技能及び創作能の養成、並びに鑑賞力の啓培、清潔を好み綿密を尙ぶ習慣を養ふことを要旨とする。是等の要求は職業生活に直接間接に必要であり、特に圖畫の應用的方面に力を注ぎ鑑賞力の養成に留意しなければならぬ。

### 唱 歌 科

本科は平易な歌曲の唱謠、快活純美の心情養成、徳性の涵養に資することを以つて要旨とするが、職業指導上留意すべき点は音楽と作業との關係を知らしめ、且つ職業の餘暇を如何に善用すべきかといふ趣味娛樂修養としての基礎を養ふことに努めねばならぬ。

### 体 操 科

本科は身体各部の均齊なる發育、動作の機敏、健康の保護増進、精神の快活剛毅を目的とし規律、協同の諸徳養成を期するにある。これ等の諸要項は各種職業の能率増進上極めて重大な關係を有するから其の成果

を期し、更に身体と職業との關係並に國民衛生の現状より就職後の体育が更に一層必要なる所以を知らしめねばならぬ。

### 商 業 科

本科の要旨は商業に關する普通の智識、技能の習得、勤勉、敏捷且つ信用を重んずる習慣の養成にある。従つて職業指導の目的を達する爲の重要な教材である。

### 手 工 科

本科の要旨は手工に關する知識技能及趣味の養成、勤勞愛好、勤勉綿密、創作工夫を重んずるの態度を馴致するにある。従つて職業指導の目的を達する爲に重要な教科である。

### 英 語 科

本科は日常簡易な英語の習得を要旨とするが、職業指導上では國語化しつゝある外國語、通俗に使用されつゝある各種職業に關係ある術語及普通賣買に役立つ程度の商業英語を重視せねばならぬ。

### 裁 縫 科

本科は通常の衣類の縫ひ方、裁ち方等に習熟せしめ、節約利用の習慣養成を要旨とするが、職業指導上留意すべき点は見積り、工夫、創作能力並に勤勞精神、審美的情操の啓培につとめ且つ能率増進の訓練に努めること。



本科は家事に関する普通の知識技能の習得、其の趣味の助長、節約利用、秩序清潔の習慣養成を期するに  
あるが、家業の繁榮家族の職業的成功によく助力し得る内助者たらしめるのみならず、これに關する職業婦  
人としての基礎を作ることは職業指導上必要なことである。

## (二) 實業科の實踐的取扱

- 1、實業科はそれ自身職業に關する智識を啓培し技能を修練するものなるを以て、常に實際に付き調査及  
實習を行はしめ適切なる指導をなすことが肝要である。
- 2、商業科は一般商業科の指導であるがこれを別けて商業大要の指導珠算、練習、簿記學習、記帳練習、  
飾窓實習、謄寫版實習等として居る。

## (三) 職業指導科と讀物

- 1、高等科に於て選職就職の準備指導として細目を編成し職業の如何なるものなるかを理解せしむると同  
時に、選職就職の知識、就職後の心得等につき其大要を知らしむる爲毎週課外に一時間教授す。
- 2、各學校文庫に職業に關する書籍を藏し隨意兒童に貸與し研究を奨勵し、以て職業意識の啓培をはかり  
職業的人格の陶冶に資す。

## (四) 實地見學

本市に於ては少年部指導委員會に於てプランを作製し月中行事に割當て各校同時に會社、工場、其他活動  
實地を見學することになつてゐる。これによつて郷土の職業を通じて各種職業の實際的知識を得以て職業的  
態度の養成に資し選職上の參考とする。

それが爲には豫備的調査或は見學後の記事文感想文を綴らせ之を保存し將來の參考とする。

## (五) 職業講話

學校生活と實際社會勤勞生活とは其間相當行き方を異にすることがあつて、就職兒童の行路に迷ふことが  
ある。それが爲に成功の機會を知らざるもの、或は逸するものがある。各校に於てはこれに鑑み行事豫定表  
によつて多年職業生活經驗の豊富なる實業家の講演を乞ひ、他日社會生活をなす自己の修養資材とし職業意  
識の啓培をはかり職業的人格の陶冶をなす。

## 二、職業的體驗

職業的知識を得しめたる上は更に體驗による勤勞愛好の精神、職業趣味、職業道德養成、進んでは職業的  
技能の修得にまで到達せしむべく豫定案を立て校内外の適當なる機關と機會を捉へて指導保護のもとに體  
験をなさしめ、所期の目的を達成せしめるやうに努むることが大切である。  
例へば左記の要項の如くである。



- (一) 校内校外勤勞奉仕
- (二) 應接實習
- (三) 製作修理實習
- (四) 隨時職業見習
- (五) 創作品即賣會
- (六) 印刷製本實習

### 第三章 就職進學指導

職業指導の使命は職業的陶冶にあれども、教育の本旨は兒童在學中は勿論學校卒業後と雖、これを輔導すべき性質のものなるを以て、兒童の將來に最も大切なる選職指導、進學指導就職斡旋をも行ふは何より親切である。之を行ふに當つては常に兒童の身体、環境、家庭の意見、學業、個性、職業事情等を基礎としてなすべく、特に卒業後直に就職せんとする者に對しては其兒童の不適職を指摘し以て適職の範圍を指示することが大切である。

尙職業紹介所との連絡を密接にし万全の考慮をなすことを忘れてはならない。

以上の意味に於て學校に於ては兒童將來の爲決して無理な就職指導は行ふべきではない。

### 一、選職指導

兒童將來の職業は、兒童自身これを選択して適職を發見することが最も理想である。

然してこれは所謂理想であつて、兒童自身のみにて實現することは困難である。

故に選職決定に際しては適當なる指導により『適材適職』ならしむべきである。

それには積極的方法と消極的方法とがある。

#### 1、積極的方法

求職兒童の性能並に知能其他諸條件と、職業の要求する知能、性能とが明瞭に一致したと確認せらるゝ場合にのみ行ふのであるが、其適否の決定は主觀的判斷によるのであるから誤ることが時々あつて餘程危険と言ふべく輕々には行ふべきではない。

#### 2、消極的方法

兒童の身体性能知能に付いて特に不適職と思はれる方面を指摘してこれを避け、それ以外の範圍中より最善なるものを選択せしめるのであるから誠に妥當である。

尙保護者にもよく理解せしめて、兒童、家庭、學校が三位一体となつて最適の職業を選ぶべきである。

#### (一) 兒童希望職業調査



職業陶冶によつて確立したる兒童の職業觀により、卒業後の希望職業を選定せしめ本市規定の調査表用紙に記録提出せしめ以て研究の資材とする。本市は各校共高等科第二學年に年三回これを施行する。

(二) 保護者希望職業調査

前記の用紙には保護者の希望及意見をも併記しこれに捺印して學校に提出せしめる。

(三) 希望職業及商店研究

希望の職業は皮層の觀察によつて決定せられることがあつてはならぬ。

故に該職業の内容概觀及特殊性を知悉するやう研究調査を行はしめてゐる。

特に郷土に其就職先のあるものは實地に付研究せしめ其繼續の可能なるや否やを検討せしめる必要がある。

(四) 職業指導展覽會

各學校にて開催する成績品展覽會には特に職業指導に關する一室を劃して、參考品及兒童の調査研究したる出品物を陳列展觀せしめ以て本指導教育の充實を圖る一助としてゐる。

(五) 選職決定懇談保護者會

希望職業調査第三回終了を待ち毎年一月末に保護者を學校に召集して、級擔任、職業指導主任列席の上選職決定に付懇談する。

先に兒童希望を基として、次に保護者の意見を尊重し、學校はこれに助言を與へて最適の決定をなし、以

て兒童將來の進路に誤りなきを期したい。

二、進學指導

上級學校入學志望者に對しては選職指導に準じて選校指導を行ひ、兒童、家庭、志望學校、の三方面より考察して最も適切なる學校を選択入學せしめることにつとめる。

尙學校に入學せずとも餘暇を利用して勉學に志す者の爲めにも進學と見做して適當の指導を行つてゐる。

(一) 上級學校への進學指導

先づ志望學校の選擇に付ては本人の學業成績性行志望家庭の狀況を顧慮するは勿論、學校の系統種類及内容を知らしめ、特に職業と學校との關係を明かにし、將來の方向につき自覺を與へてゐる。これが決定に付ては進學指導保護者會を開催し、父兄と各擔任と懇談を重ねた上遂行する。

(二) 就職希望者に對する進學指導

業務の餘暇を以て讀書による修養と知識收得の習慣を養成せしめる。其方法として圖書館講義録等による勉學を奨励し、出來得べくば夜間學校に通學することをも奨励し青年期の充實の爲めに修養せしめる。

三、就職斡旋



本市小學校は兒童及保護者の就職業者に對しては出來得る限り就職斡旋に努力してゐる。其機關として職業紹介所内に、少年職業指導部を組織し部員として各小學校より指導主任一名宛と紹介所主任に當つてゐる。

本指導部はこの就職斡旋の外、職業指導一切に關して各學校歩調を一にして合同研究をなしこれを実施してゐる。

此統制を計るために學校長一名部長となりこれに當つてゐる。

故に教育上何等の支障なく學校と紹介所との連絡は圓滿に遂行せられてゐる。

それが爲に保護者よりの就職斡旋依頼は年を追ふて増加し眞に慶賀すべき状況にある。

(一) 求人申込票作製

商店其他よりの求人申込は主として職業紹介所にて受理し「求人申込票」に記録す。又直接學校に申込のあつた場合は紹介所に報告し前同様記録す。

(二) 求人一覽表作製

前記の通り受付けたるものは「求人一覽表」を作製印刷に附して各小學校へ配布し、兒童に知らしめ、其中より就職希望商店を選択決定せしめてゐる。

(三) 求人先調査

一面識もない求人者の申込は其雇傭條件にのみ満足して兒童を紹介するは最も危険である爲前以て何等かの方法で實情調査を行ひ、確實有望なりとの見込ある場合にのみ斡旋を行ふ。

(四) 求人希望受理

希望職業及希望就職商店決定したる時は所定の「求職票」に必要事項を記入して、學校より紹介所に廻附し登録の上「求職一覽表」を作製し求人先へ送附需給をはかる。

(五) 雇傭申込商店召集懇談

雇傭申込商店主を召集し入店後の修業希望方針等に付學校と雇傭主及職業紹介所との間に忌憚なき懇談を試み職業指導の眞精神を徹底的に強調し兒童將來の幸福を達成せしめることに努む。

第四章 就職後の輔導

就職指導によつて各種の職業に従事し或は學校に進みたる者に、更に向上發展せしめる爲に特に學校より行ふ助成作用が、即ち就職後の指導である。

尙言葉を換ゆれば卒業兒童が實社會にて良き活動するためには施す再教育である。

然して其職業生活の技術的方面或は一般生活方面は彼自身の自覺及修養に俟つものであつて、學校としては精神的方面の指導を行ひ、發奮自重せしめることが大切である。



又轉職失職の場合には適當の指導と注意を與へて、其不幸を感むると共に其原因を調査し更に就職先の開拓をもなし與へなければならぬ。

## 一、一般輔導

職業指導の目標は就職兒童が獨立して一家の生計を營み得るに到るまで何等かの方法にて輔導するにある。其間父兄や雇傭者或は同僚等によりて誘掖扶助を受けつゝも、尙母校の教育的精神を以て輔導せば魂は故郷にかへりてすく／＼と伸展向上し彼等の將來を幸福にするであらう。

### (一) 通信指導

實社會にて活動する就職兒童にとりては、學校通信は一は慰安であり、二は激勵であり、三は良友である。本市各校は發行毎に彼等に送附して所期の効果を念願してゐる。

### (二) 召集慰安會

毎年六月又は十月本市少年職業指導部の名を以て本市及附近の就職者を召集して茶話會を開き就職後の感想、それに対する指導講話、茶菓、餘興等を行ひ彼等の就職の幸福を祝ふと共に激勵する。

### (三) 卒業生就職狀況調査

毎年四月卒業兒童の就職未就職者を調査し紹介所と共同して就職開拓に努むる。

尙以前の卒業者の就職狀況も必要に應じ調査し輔導の資料とする。

## (四) 青年團及青年學校と連携

### 二、特別輔導

學校及紹介所が最も適材適職であると思ひて就職斡旋を行ひたるも、其就職の狀況が果して良好に進展せりや否やを検討することは極めて必要である。

それには直接就職先を訪問して身体上、精神上適性なるかを調査すると同時に其雇傭條件が履行せられるか否や等についても調査し、若一轉職の必要ある場合は適當なる處置を取ることとする。

其他彼等をして修養研究の機會を與へ、或は同窓相會して舊交を温める等の會合には學校はよき輔導者となつて彼等の將來の幸福と延いては社會の隆昌繁榮の爲に計らねばならぬ。

### (一) 卒業生就職先訪問

通信により或は直接訪問を行ひ彼等の職業の將來向上發展の爲めに相談相手となり激勵鞭撻し成功を期せしめるのである。



(二) 同級會召集輔導

卒業後各地に就職せる者で益又は正月には藪入にて歸郷する者が多い。此機會を捉へて同級會を開催して卒業後の経過及現在從事する職業の所感を述べしめ、これに對して適當の輔導をなすこと。

(三) 同窓會の利用

學校創立當初よりの先輩名士を有する會合にて會員相互の懷舊談に友情を温むるにあれど、先輩の職業に關する体験談を聽き以て自己の職業に對する認識を深からしめ努力を要することを知らしめたい。尙郷土後輩の爲めに求人求職の斡旋機關としたい。

(四) 講演會

本市教育會又は商工會議所の後援を得て職業指導に關して名士講演會を時々開催して、就職者に聽講せしめて輔導の實をあげることに努めてゐる。

附

神都職業指導研究會規則

- 第一條 本會ハ神都職業指導研究會ト稱シ事務所ヲ宇治山田市進修尋常高等小學校内ニ置ク
- 第二條 本會ハ職業指導ニ關スル研究ヲ爲スヲ以テ目的トス
- 第三條 本會々員ハ學校教員、職業紹介所員、及本事業ニ贊助シ研究スルモノヲ以テ組織ス
- 第四條 本會々員ハ會費トシテ毎年金壹圓ヲ齎出スルモノトス
- 第五條 本會經費ハ左ヲ以テ充當ス
  - 1、會員醜金
  - 2、助成金
  - 3、寄附金等
- 第六條 本會ニ幹事三名ヲ置ク
  - 幹事ハ互選ニ依リ定メ任期ハ一ケ年トス
- 第七條 幹事ハ互選ニ依リ左ノ役員ヲ定ム
  - 幹事長 一名
  - 庶務 一名
  - 會計 一名
  - 幹事長ハ本會ヲ代表シ會務ヲ總理ス
  - 庶務ハ本會事務ヲ處理ス



會計ハ本會會計事務ヲ掌理ス

第八條 本會ハ其ノ目的達成ノ爲メ毎月一回例会ヲ開ク

第九條 本會經費收支豫算及決算並ニ事業計畫ハ毎年度初前ニ總會ノ議決ヲ經ルモノトス

第十條 本會現金ハ之ヲ郵便貯金トシテ保管ス

第十一條 本會々計年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ヲ以テ終ル

附 則

本會ニ必要ナル事項ハ幹事長之レヲ定ム

昭和十一年三月五日印刷  
昭和十一年三月十日發行

(非賣品)

編輯兼 發行所 三重縣宇治山田市岩瀨町一〇四番地  
 橋 本 增 藏  
 印刷所 三重縣宇治山田市岩瀨町一一二番地  
 神 都 活 版 所  
 印刷者 三重縣宇治山田市岩瀨町一一二番地  
 奥 村 正 二 郎  
 發行所 宇治山田市職業紹介所



加註釋書の跋歌

7  
7  
7